

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ヤマトタカオゼミナール
神奈川大学	経済学部	山本 崇雄ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) ヤマトゼミ	フリガナ) ヨコヤマ ルカ	4	無
山本ゼミ	横山 瑠佳		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)
PPT

研究テーマ (発表タイトル)
葬式ビジネスの意味的価値とは

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

高齢化社会などといった社会構造と生活環境の変化に伴い、終活への関心度が高まっている。また選択肢が多い世の中になっており、それは自分の生き方、逝き方を選択することも例外ではないため、様々な終活ビジネスが注目されてきている。そこで今回多様化してきている「葬儀ビジネス」に着目した。そして現在好まれている葬儀の傾向を価値観からみて分析する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

一般葬が一般的であったが、近年では家族葬を選ぶ方が増えてきている。このように現在、葬儀が簡略化されたものが増えており、そしてそのような葬儀が好まれている。その傾向の理由として、高齢化社会により、葬儀に呼ぶ人が少ないため規模の小さな葬儀するといったことが挙げられる。

3. 研究テーマの課題

葬儀を2つの機能的価値と意味的価値からみてみた。私たちは、機能的価値と意味的価値の両方を含んだものをフル・パッケージビジネスとし、機能的価値が意味的価値より強いものを専門特化型ビジネスとした。そこで近年好まれている葬儀は専門特

化型ビジネスという傾向があり、なぜ専門特化型のビジネスが好まれているのか分析する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

専門特化型ビジネスは機能的価値に特化しており意味的価値が失われていっている。そこで、専門特化型のビジネス・モデルで価値を提供するにはどうすべきか考えた。その方法として、極めた専門性を提供する、一連の流れのうち、最も重要な要素を見極めるといった方法がある。例として専門特化型ビジネスのシンプル葬は「人数」を重要な要素とし、そこにフル・パッケージビジネスとは異なった意味的価値があると考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

専門特化型ビジネスの一つの例である QB ハウスの戦略を参考に、葬儀での意味的価値の提供の仕方を分析した。QB ハウスでは髪を切ることを重要な要素としている。それを葬儀にあてはめるとどうなるかを考察した。

6. 結果や今後の取り組み

専門特化型ビジネスはフル・パッケージビジネスと別の意味的価値を生み出し、また意味的価値が細分化されることで個人に合った葬式を提供することが可能となった。また、企業側は、専門特化型ビジネスを生み出していく中で機能的価値を特化していくと共に、個々人が重視する観点からの意味的価値を持つ葬儀を提供していかなければならないと考える。

7. 参考文献

【書籍】

- ・星野哲「終活難民」2014年平凡社新書
- ・松尾剛次「葬式仏教の誕生」2011年平凡社新書
- ・川村邦光「弔い論」2013年青弓社
- ・一条信也「葬式論」2016年青弓社
- ・中野敬一「終活ブームの背景と課題-とくに葬儀や墓に関する問題をめぐって-」

【Web】

- ・終活フェスタ in2013
<https://shukatsufesta.jimdo.com/%E7%B5%82%E6%B4%BB%E3%81%A8%E3%81%AF/>
- ・QBハウスホームページ <http://www.qbhouse.co.jp/>
- ・エンディングパーク <https://en-park.net/books/7967>

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合は、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合は同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

さい。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください